様式第６号の１

業務中事故報告書

1. 発注（報告）機関　　名古屋支社　　[redacted]　保全・サービスセンター　　（立会者）

2. 業　　務　　名　　2022 年度 名神高速道路 [redacted]管内維持修繕業務

3. 発　生　日　時　　令和　５　年　３月　７日（　火曜日）午前　９時　３０分頃（天候曇り）

4. 発　生　場　所　　名神高速道路　下り線　kp414.8 付近

（地先，ＩＣ間，測点など）

5. 工事の概要

(1) 工 事 請 負 業 者　中日本ハイウェイ・メンテナンス名古屋㈱

(2) 発　注　区　分　　名古屋支社

(3) 工　　期　　令和　４年　４月　１日から　令和　５年　３月　３１日まで

(4) 請　負　金　額　　　　円

6. 事故の状況

名神高速道路　下り線　野田山高架橋の断面修復工のため、路肩規制を実施しており、規制内作業中、路肩規制並行部ラバコーン１本(並行部開始から約 130m)の損傷を確認したもの。(原因者不明)

7. 被災状況（公衆損害事故については，その第一原因者についても記入すること。）

公衆，作業員などの区別	（ふりがな）氏　　名	性別年齢	職種経歴	当現場の経歴	被災者の住所	負傷程度	
	被災者なし						

（物損状況）

規制機材(ラバコーン)1 本(再利用不可)

8. 事故に対する所見（原因考察，警察・労基署の所見など）

無し

9. 事故発生後の処置

（業務現場）　9：30 頃　路肩規制内上流側で作業していたメンテ[redacted]社員が発見

損傷した規制材の回収及び予備の規制材の設置

9：40 頃　メンテ[redacted]社員からメンテ現場責任者へ連絡(不通)

9：50 頃　運転中だったためメンテ現場責任者から[redacted]社員へ折り返し連絡

10：00 頃　メンテ現場責任者から[redacted] HSC 保全計画へ連絡

メンテ現場責任者から現場代理人へ事象報告

（本業務の本件までの事故状況）　　件，うち死亡　　件，負傷　　件，物損その他　　件

ラバコーン損傷位置
名神高速道路　下り線　kp414.8付近
彦根市
野田山町
国道３０６号
↑早川
415.0KP
414.5KP
414.0KP
野田山高架橋
↑早川